



内科通信 No.1

インフルエンザの基礎知識

今回は知っておくと役に立つインフルエンザの基礎知識を紹介します。

1. インフルエンザの流行は、例年12月から4月頃まで。流行するウイルスの型や規模は年毎に異なります。A型はほぼ毎年流行するのに対し、B型の流行は最近隔年のことが多いのです。

2. 典型的な症状としては、突然の発症、38℃以上の高熱、咳、鼻汁、咽頭痛、くしゃみ、全身倦怠感などの全身症状がみられます。

しかし、典型的な症状がみられないケースも多く、特に高齢者やB型では微熱だけにとどまることが、まれではありません。



3. インフルエンザとそれ以外の風邪とを、症状だけから確実に見分けることは困難とされます。鼻腔ぬぐい液による迅速診断キットは診断精度が高いがそれでも診断率は90%程度であり、発症早期のウイルス量が少ない時期は迅速診断のときは陰性になることもあり、その後半日~1日経過してから陽性になることもあります。

4. 咳やくしゃみ、鼻汁によって排泄されるウイルスは直接感染源となります。その飛沫は空気中  を浮遊し、インフルエンザの拡散を促します。よって、感染予防にはマスクの使用、室内の加湿加温、空気の入替えなどが重要になります。

